

音戸の瀬戸公園整備計画策定の進捗状況について

音戸の瀬戸公園（以下「公園」といいます。）の再整備（以下「再整備」といいます。）については、令和7年4月に地域創生ソリューション株式会社を代表企業とするCCKグループと再整備等に関する基本協定（以下「基本協定」といいます。）を締結し、現在、呉市が主体となって進める整備内容やスケジュール、事業費、イメージ図等を取りまとめた「音戸の瀬戸公園整備計画」（以下「整備計画」といいます。）について、CCKグループと協議を行いながら策定を進めています。

本報告は、整備計画策定の進捗状況について報告するものです。

これまでの経過

令和3年3月	公園内の温浴施設「汐音」が閉店（以降、公園内に飲食施設などの便益施設がない状況）
令和5年11月 ～令和6年7月	民間事業者から公園の活用策の提案を募集するため「サウンディング型市場調査」を実施
令和6年8月	産業建設委員会において行政報告 (音戸の瀬戸公園のサウンディング型市場調査の結果及び公募型プロポーザル方式による事業者選定の実施について)
令和6年8月 ～令和6年10月	優先交渉権者を選定するため「公募型プロポーザル」を実施
令和6年11月	優先交渉権者に「CCKグループ」を選定
令和6年12月	産業建設委員会において行政報告 (音戸の瀬戸公園の活用に係る公募型プロポーザル方式による事業者選定の結果について(報告))
令和7年3月	産業建設委員会において行政報告 (音戸の瀬戸公園の再整備等に関する基本協定の締結について(報告))
令和7年4月	CCKグループと基本協定を締結

現在の進捗状況

整備計画の策定に向けて、整備内容の参考とするためのアンケート調査及びヒアリング調査並びにCCKグループとの協議を踏まえ、利用の目的と用途を示すゾーニング素案を作成しました。

1 アンケート調査

(1) 目的

整備内容検討の参考とするため、公園の利用目的、課題、再整備に対する懸念点や要望等について把握

(2) 調査期間

令和7年7月10日から同月31日まで

(3) 実施方法

ア 書面（紙媒体）調査

無作為抽出した18歳以上の呉市民2,000人にアンケート調査票を郵送し、設問に回答

イ WEB調査

誰でもスマートフォンやパソコンから設問に回答

(4) 周知・広報

ア 呉市ホームページへの掲載

イ 市政だより8月号、呉市観光・地域振興アプリ「マイクレ」及び観光情報サイト「くれトリップ」への掲載

ウ 広島銀行の支店・営業所での案内 ※CCKグループの構成法人である株式会社広島銀行との連携

(5) 結果

ア 有効回答者数

1,657人（うち、書面調査による有効回答者数：804人（回収率：40.2パーセント））

男性	751人(45.3%)	女性	871人(52.6%)	不明	35人(2.1%)
----	-------------	----	-------------	----	-----------

(ア) 年代別内訳

18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上
105人(6.3%)	203人(12.3%)	251人(15.1%)	346人(20.9%)	325人(19.6%)	427人(25.8%)

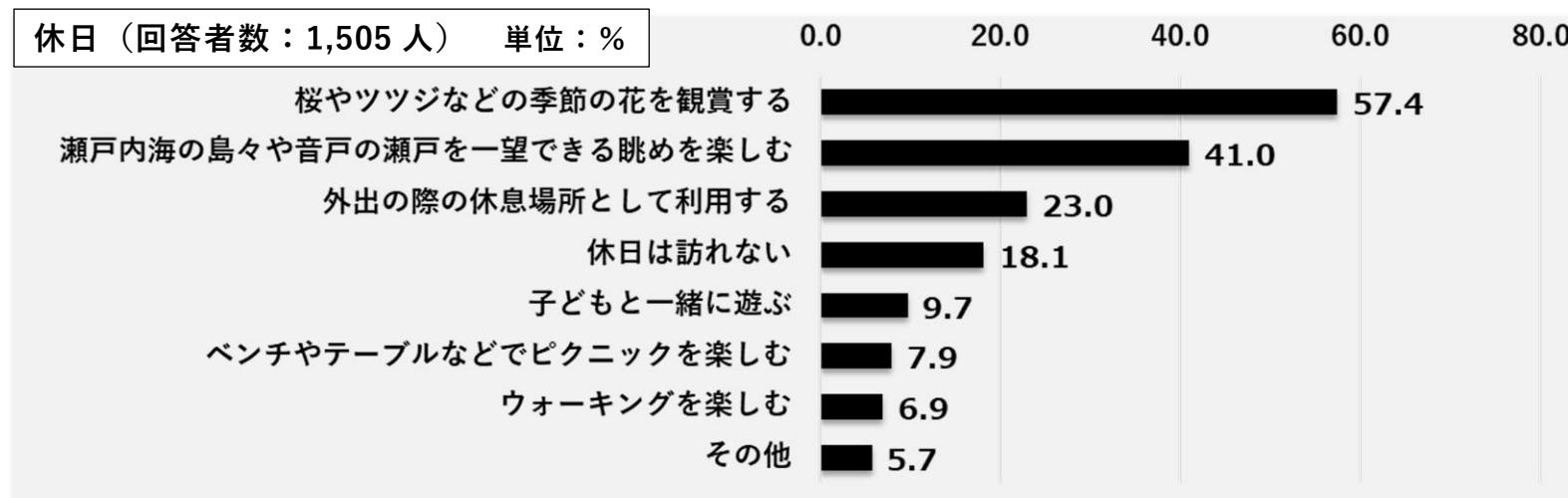
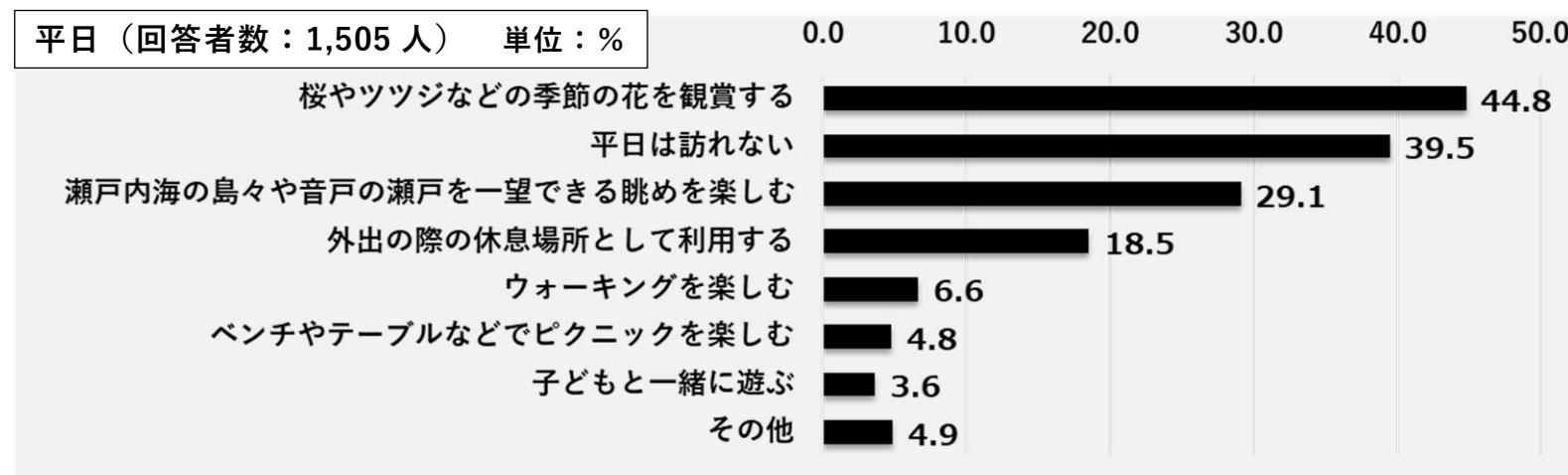
(イ) 居住地別内訳

呉市内	呉市外
1,551人(93.6%)	106人(6.4%)

イ 結果の概要

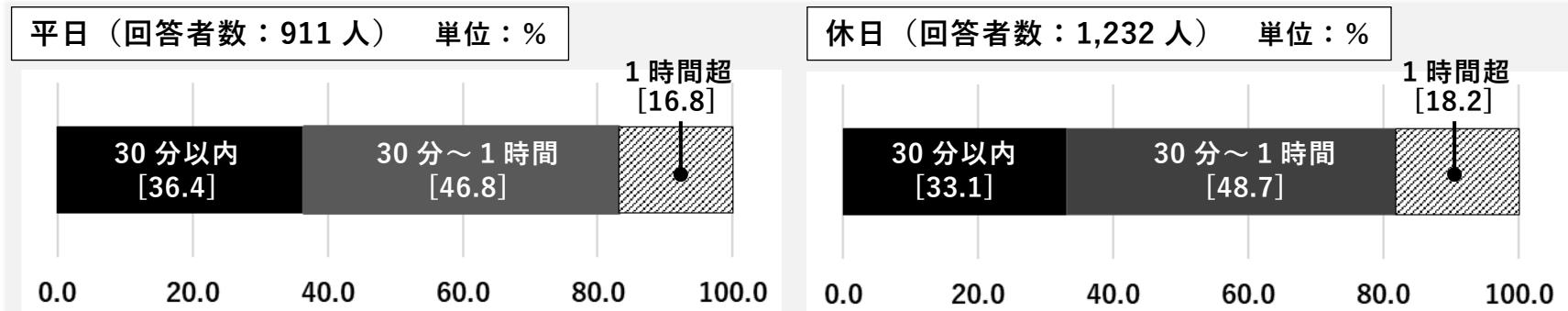
(ア) 公園の利用目的 ※複数回答

平日・休日ともに、公園内の桜やツツジ等の季節の花を観賞することや、公園からの瀬戸内海の島々や音戸の瀬戸の眺望を楽しむ、外出の際の休息場所として利用するといった意見が多い結果となっています。また、平日は訪れないという回答も多い結果となっています。



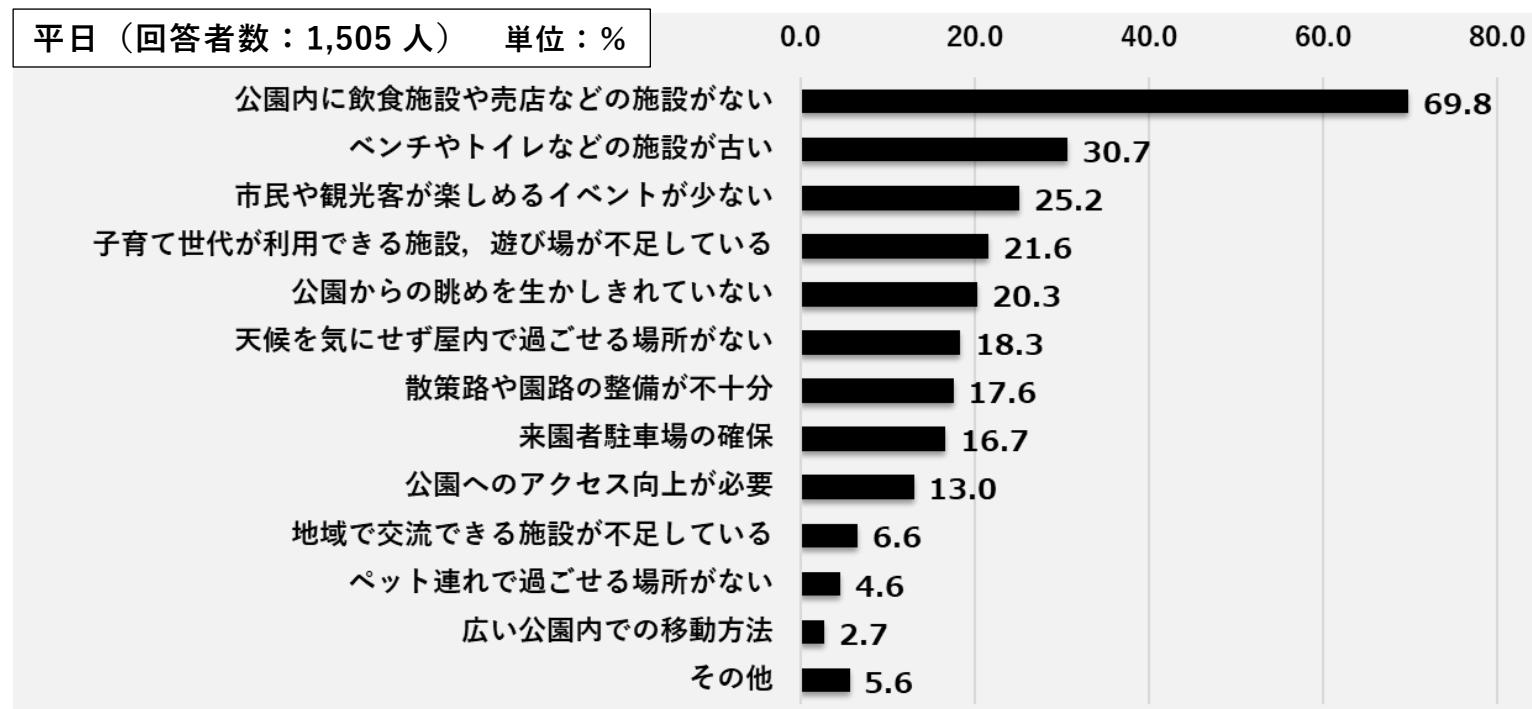
(1) 公園での滞在時間

平日・休日ともに公園での滞在時間は1時間以内といった意見が多い結果となっています。



(2) 公園の課題 ※複数回答

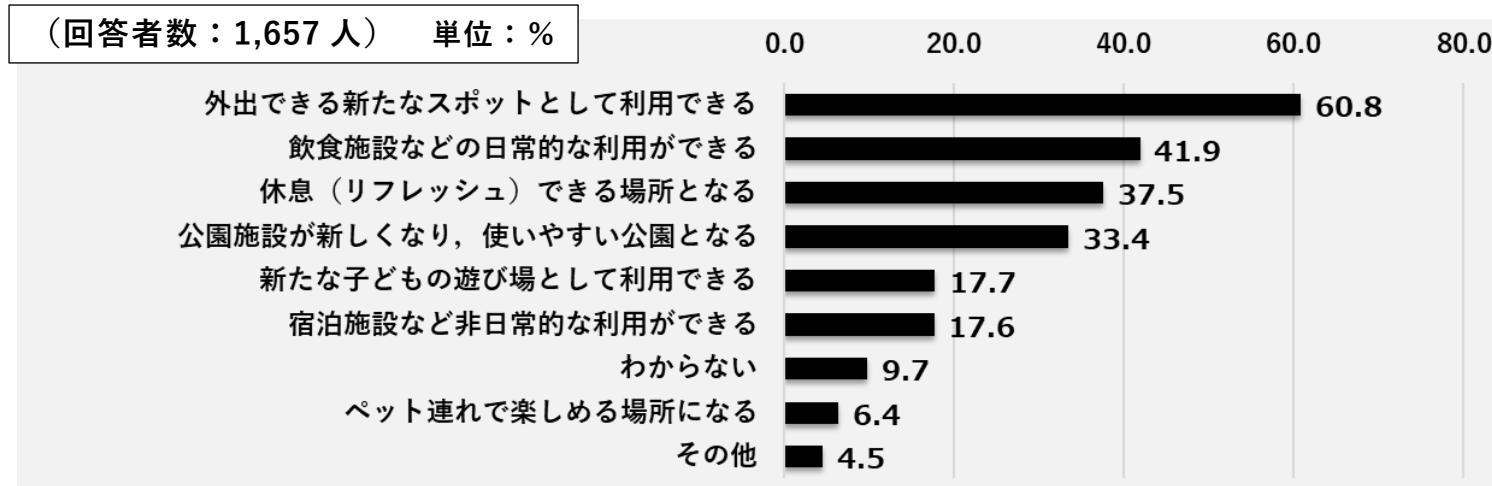
公園の課題として、園内に飲食施設や売店などの施設がないといった意見が最も多く、ベンチやトイレなどの施設が古い、市民や観光客が楽しめるイベントが少ないといった意見も多い結果となっています。



(I) 再整備がもたらす効果 ※複数回答

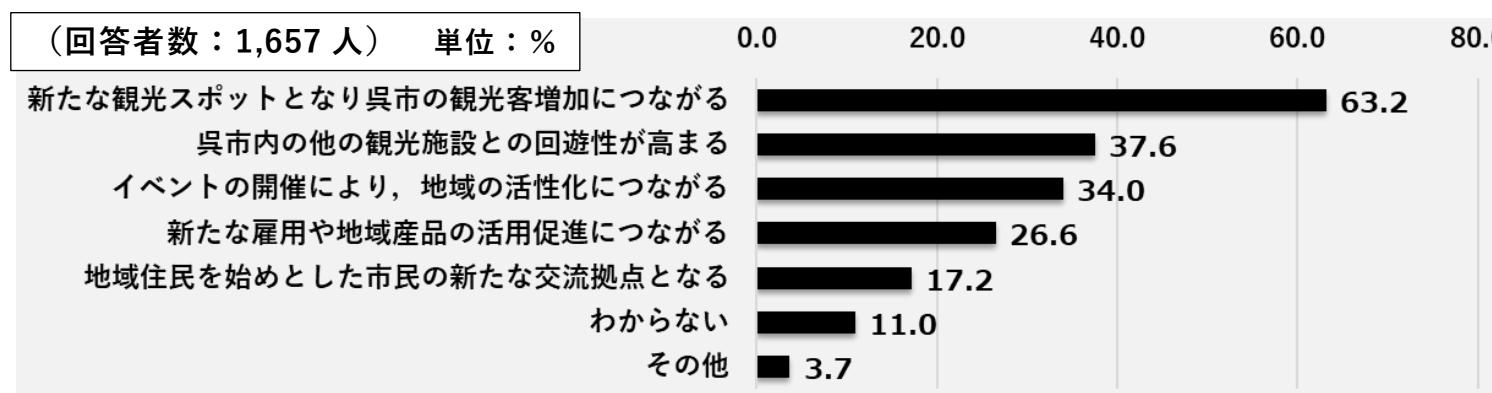
a 自身や家族にもたらす効果

外出できる新たなスポットとしての利用を期待する意見が最も多く、CCKグループが計画している飲食施設などの日常的な利用ができることや、休息（リフレッシュ）できる場所となること、公園施設が新しくなり使いやすい公園となるといった意見も寄せられています。



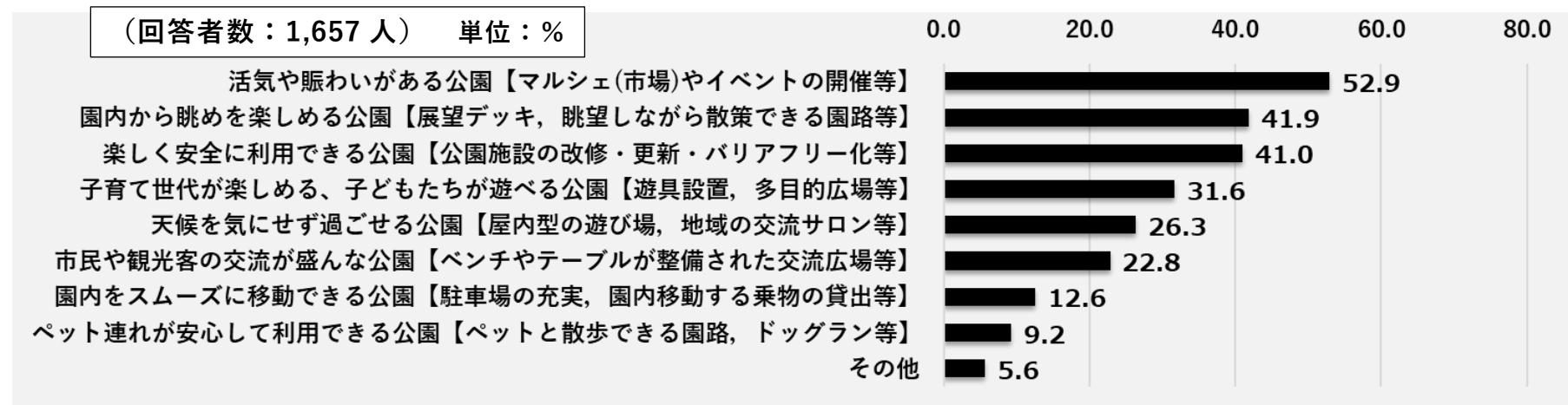
b 呉市全体や公園周辺にもたらす効果

吳市全体や公園周辺にもたらす効果として、新たな観光スポットとなり吳市の観光客の増加につながることを期待する意見が最も多く、市内の他の観光施設との回遊性の向上や、イベントの開催による地域活性化、新たな雇用の創出や地域産品の活用促進につながるといった意見も多くなっています。



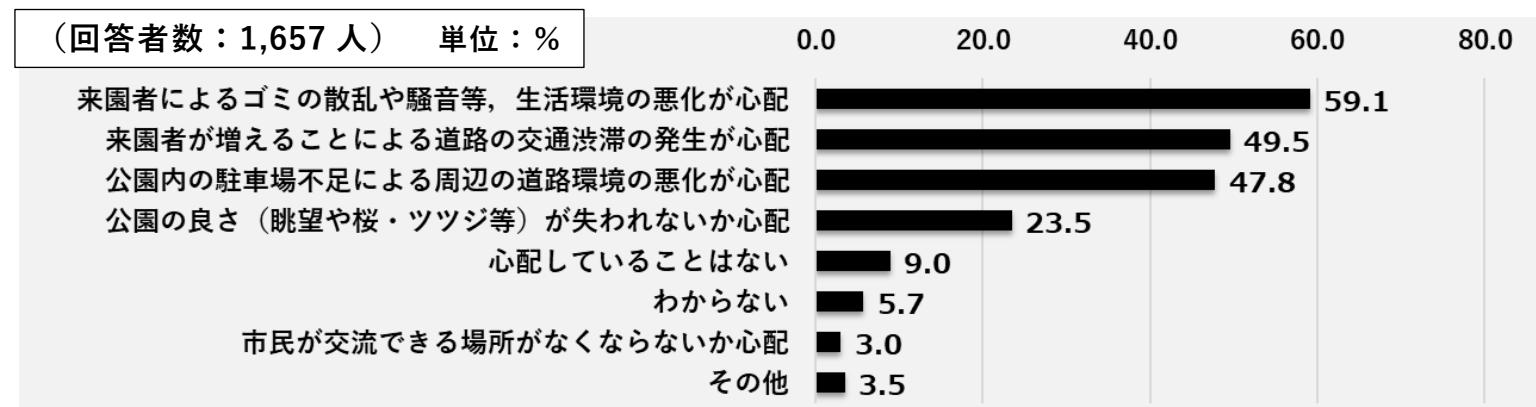
(才) 再整備により期待する公園の姿

再整備による新たな公園の姿として、物販を楽しめるマルシェ（市場）や集客イベントの開催等による活気や賑わいがある公園を求める意見が最も多く、展望デッキや眺望しながら散策を楽しめる園路等を備えた眺めを楽しめる公園、園内トイレやベンチ等の施設、園路等のバリアフリー化及び改修・更新により、楽しく安全に楽しめる公園、子育て世代が楽しめる子どもたちが遊べる公園を求める意見も多くなっています。



(才) 再整備により呉市全体や公園周辺地域に心配・懸念される影響 ※複数回答

呉市全体や公園周辺地域に心配される影響として、公園利用者によるごみの散乱や騒音等による生活環境の悪化を心配する意見が最も多く、道路の交通渋滞や公園内の駐車場不足による道路環境の悪化を心配する意見も多くなっています。



ウ まとめ

- ・現在の来園者の多くは、園内の眺望や桜やツツジ等の季節の花を楽しんでいる傾向にある。
- ・平日の来園者が少なく、平日・休日ともに滞在が1時間以内の利用者が多い。
- ・園内に飲食施設や売店がないことや既存施設が古くなっていることが、課題として認識されている。
- ・再整備により、新たな外出スポットや観光拠点となり、地域のイベントの開催による地域活性化などの効果が生まれ、市民や観光客が集い、交流できる多様な機能を備えた施設の整備を期待する意見が多い。
- ・また、来園者の増加による公園駐車場の確保や公園内のバリアフリー化、老朽化している施設の更新等を求める意見も多い。
- ・一方で、再整備後の来園者によるごみの散乱等の生活環境の悪化や、交通渋滞の発生等による道路環境の悪化を心配する意見も多い。

2 ヒアリング調査

(1) 調査の目的

整備内容検討の参考とするため、多様な分野の方々から再整備に対する意見を聴取

(2) 調査期間

令和7年8月21日から同年9月11日まで

(3) 調査対象者

11者

【聞き取り先】

地域住民団体	<ul style="list-style-type: none">・警固屋地区の地域住民団体・音戸地区の地域住民団体
学識経験者	<ul style="list-style-type: none">・都市計画分野の学識経験者・交通計画分野の学識経験者
民間事業者	<ul style="list-style-type: none">・旅行関連事業者・こども向け遊び場の運営事業者（2者）・交流拠点の運営事業者・公園の管理運営（指定管理者）の実績を持つ事業者・次世代モビリティ導入の支援事業者（2者）

(4) 調査結果（主な意見）

対象者	主な意見
地域住民団体 (警固屋地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食、家族での団らん、子どもの遊び、イベントの開催、地域住民の交流等ができる屋内の施設があることが望ましい。 ・民間事業者による宿泊施設及び飲食施設の整備により、地域の雇用が生まれることや地域の食材及び產品の使用などが積極的に行われることをお願いしたい。 ・宿泊施設及び飲食施設の運営事業者には、地域行事への参加などによる地域との交流や定期的な意見交換の機会が持てると良い。 ・公園利用者のマナーなどによる生活環境の悪化は心配だが、それ以上に再整備による地域の賑わいの創出や活気が生まれることを期待している。
地域住民団体 (音戸地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の公園内には休息できる場所がなく、トイレを始めとした既存施設も古く汚い印象があるため、施設の更新や改修により快適な利用環境にすべきである。 ・草木の繁茂により公園からの眺望が阻害されており、改善が必要である。 ・カフェなどの気軽に一息つける場所や地域の產品を販売する施設を整備してもらいたい。 ・2世代、3世代で利用できるエリアがあると良い。 ・園内が広いため、移動できる乗り物があれば利用しやすくなるのではないか。 ・再整備により、雇用の創出や公園周辺の地域への経済効果を期待している。 ・音戸地区で開催している様々なイベントに宿泊者等が参加するなど、波及効果が生まれると良い。
学識経験者 (都市計画分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海の景観は強みであり、ポテンシャルはある。 ・再整備は、観光客に向けて瀬戸内の魅力の発信拠点となることが期待される。 ・呉市内に、子どもが遊べる場所がもっとあれば良いという声を聞くので、そのような機能を整備することも一案である。 ・賑わいをつくり、持続させるためには公園を管理する者が常駐することが重要である。 ・民間事業者による宿泊施設、飲食施設の整備と一体的なリニューアルのため、公園の管理運営も一体的に考えるべきであり、指定管理者制度の導入など、公園管理者を園内に常駐させることは有効である。

対象者	主な意見
学識経験者 (交通計画分野)	<ul style="list-style-type: none"> 公園の広さを考えると、園内の移動手段としてモビリティを導入することは有効である。 公園の資産価値を高める観点で、導入するモビリティを考えた方が良い。 検討に当たっては、園内の移動距離や公園の付加価値を向上させる観点から、この公園ならではの体験ができるような自動運転バスや、電動キックボード等の個人で利用できる乗り物の導入が効果的であり、来園者も楽しめる。 瀬戸内エリアの他の観光地から、海上アクセスによる来訪の対応を考える必要がある。 呉駅から公園までの区間の見所を回遊するようなループバスの導入は有効である。
民間事業者 (旅行関連事業者)	<ul style="list-style-type: none"> 呉市は、広域的に捉えても（瀬戸内沿いの他県と比較しても）宮島や平和公園など、集客力がある施設が含まれるエリアであり、ポテンシャルは高い。 再整備後は、年間を通して楽しめる公園となるようなイベントやコンテンツを作ることや観光客を案内するような地域ガイドの育成により、受け入れ体制を考える必要がある。 インバウンド観光客には、特に航路でのアクセスによる受入れを検討する必要がある。 再整備後の駐車場の確保（駐車可能台数の拡充）についても検討する必要がある。 広い園内を管理し、快適な環境を提供するためには、公園管理者の常駐が必須である。
民間事業者 (こども向け遊び場の運営事業者①)	<ul style="list-style-type: none"> 近年は、特に夏場の猛暑の影響などもあり、屋内型の遊び場のニーズは高い。 施設を整備するのであれば、こども向けだけでなく、地域行事や体験イベントなどができる空間を併せ持った機能が必要である。 施設については、行政が整備し、民間事業者に管理委託する手法が現実的と思われる。
民間事業者 (こども向け遊び場の運営事業者②)	<ul style="list-style-type: none"> 集客のある休日以外に地域の方々を対象としたイベントを開催するなど、集客力を高める施設運営が必要となる。 施設単体ではなく公園全体でプロモーションを行い、魅力を高める必要がある。

対象者	主な意見
民間事業者 (交流拠点の運営事業者)	<ul style="list-style-type: none"> 再整備により、市民だけでなく国内外からの観光客など、多様な目的を持って多くの方々が来訪することになるものと想定される。地域住民と来園者、市内の学生を始めとした若者の交流の場となるような拠点が整備されると良いのではないか。 公園を訪れる国内外からの宿泊者のために、呉の歴史や文化、地域の産品をテーマにした体験型のコンテンツの造成に向けた検討を行い、実施することが重要である。 来訪者に呉を体感し、知ってもらい、再び来訪してもらうように取り組んでいくことは非常に重要である。
民間事業者 (公園の管理運営 (指定管理者)の実績を持つ事業者)	<ul style="list-style-type: none"> 再整備により、交流人口の増加や新たな雇用の創出が期待できる。 公園単体ではなく、大和ミュージアムなど呉市内の他の観光施設との回遊や瀬戸内の他のエリアとの連携などの仕組みを構築できれば、高いポテンシャルを発揮できると感じる。 それぞれの四季に応じたイベントを企画運営するなど、いかに集客力を高める取組ができるかが、民間事業者による公園の管理運営のポイントになる。 指定管理制度を導入する場合は、適正な指定管理料をベースに、民間事業者が自主事業による売上げにより収益を高め、管理運営を行う形が参入しやすい。
民間事業者 (次世代モビリティの導入支援事業者①)	<ul style="list-style-type: none"> 公園内は、交通量が少なく信号もないため、次世代モビリティの導入に適した環境である。 公園内は勾配があり、自動運転バスの走行に関しては、車両の性能上、走行可能だが、走行時の安全性について試験運行するなどして検証を行い、課題を把握し、改善につなげていくことが、実装（導入）に向けて必要となる。 実際の運行時の操作者や車両点検を市内事業者が担うことができれば良い。
民間事業者 (次世代モビリティの導入支援事業者②)	<ul style="list-style-type: none"> 電動キックボードなどの一人で利用できる小型モビリティの導入は、公園の広さや環境を踏まえて有効ではないか。 勾配のある園路の走行環境について、試験走行することが望ましい。 スマートフォン上で走行可能なエリアを設定するなど、利用者への安全なサービス提供にもつなげることが可能である。

(5) まとめ

ア 再整備に求める施設・機能

- ・子育て世代が楽しめる機能やイベントの開催により地域住民と観光客との交流等ができる屋内施設、飲食をしながら休息できる場所及び地域の产品を購入することができる施設の設置
- ・経年劣化した公園内のトイレやベンチなどの既存施設の更新・改修による利用環境の改善
- ・再整備後の来園者数の増加を踏まえた公園駐車場の拡張
- ・公園内からの眺望を更に優れたものとするための公園内の草木の伐採及び再整理

イ CCKグループへの要望事項

- ・宿泊施設及び飲食施設における地元の雇用並びに地域の食材及び产品の積極的な使用
- ・宿泊施設及び飲食施設の運営事業者が地域行事に参加するなどの、地域との交流推進

ウ 公園の管理・運営

- ・再整備後において、広い公園内の効率的かつ持続的な管理運営を行うため、指定管理者制度などの公園全体の管理・運営をする手法の導入により、園内に公園管理者が常駐する環境整備を検討
- ・年間を通したイベントの開催、来園者が楽しめるコンテンツの企画運営及び地域住民による観光ガイドなどの受け入れ体制の検討
- ・大和ミュージアム等の呉市内の他の観光施設との回遊や瀬戸内の他エリアとの連携などの仕組み構築の検討

エ 公園までの移動手段

- ・瀬戸内エリアの他の観光地からの、海上アクセスによる来訪者の受入れ
- ・呉駅から公園までのルート沿いの観光名所を回遊することができるループバスの導入

オ 公園内の移動手段

- ・公園内を移動できる自動運転バスや電動キックボード、電動三輪車などの次世代モビリティの導入
- ・次世代モビリティの導入に向けた安全性確認のための試験運転の実施に向けた検討

カ その他の意見

- ・再整備により地域の賑わいと活気が生まれることや、公園周辺の地域の経済効果への期待
- ・国内外からの来園者が、呉の歴史や文化、地域の产品に触れることができる体験型のコンテンツの実施

3 ゾーニング素案（整備内容）

アンケート調査及びヒアリング調査並びにCCKグループの提案を基に整備内容を検討し、機能の配置を示すゾーニング素案を作成しました。ゾーニング素案は、丘陵地に位置する公園の特徴を踏まえ、公園内を大きく三つのゾーンに分け、多様な活用を図ることができる拠点としてリニューアルする内容としています。

ゾーン名（仮称）	<p>はじまりとつながりのゾーン（北側広場、北側広場駐車場など）</p> <p>公園のエントランス（玄関）としての機能や、地域住民を始めとした市民と国内外からの来園者の交流拠点として、つながりを生み出すゾーン</p>
概要 (主な機能)	<p>○駐車場機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再整備により、公園利用者の増加が見込まれること踏まえ、現在の駐車場を拡張します。 <p>○交流拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候を気にせずこどもを遊ばせることや、市民・観光客が交流することができる機能を備えた施設を設置します。 <div data-bbox="729 754 1078 968"> </div> <div data-bbox="1145 754 1448 968"> </div> <div data-bbox="1493 754 1718 968"> </div> <p>交流拠点のイメージ【左：おひさまドーム（福島県田村市）、中・右：kiondひろしま（広島市）】</p> <p>○園内移動を行うモビリティ拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内を気軽に移動し、滞在できる環境とするため、自動運転バス、電動キックボード、電動三輪車等の次世代モビリティ（乗物）の導入の可能性を検証し、これらのモビリティを活用した園内移動拠点として、充電スペースや車両の保管場所の設置を検討します。 <div data-bbox="729 1198 965 1421"> </div> <div data-bbox="1145 1198 1403 1421"> </div> <div data-bbox="1583 1198 1718 1405"> </div> <p>自動運転バスのイメージ</p> <p>電動キックボードのイメージ</p> <p>電動三輪車のイメージ</p>

ゾーン名（仮称）	<p>やすらぎと感動体験のゾーン（汐音跡地、みはらし荘敷地、さくらの里敷地など）</p> <p>宿泊施設や飲食施設を中心に、園内からの眺望を楽しみながらくつろぎ、来園者がゆったりとやすらぐことができるゾーン</p>
概要 (主な機能)	<p>○宿泊施設・飲食施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CCKグループにより、汐音跡地とみはらし荘敷地に宿泊施設を、さくらの里敷地に飲食施設が整備される予定です。 <p>○展望デッキ・空中回廊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくらの里敷地に、瀬戸内海を見渡すことができる展望デッキや歩きながら眺望することができる空中回廊を整備し、来園者が眺めを楽しみながら滞在することができる空間を整備します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>展望デッキのイメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空中回廊のイメージ</p> </div> </div> <p>【出典：伊豆パノラマパーク ホームページ（静岡県伊豆の国市）】</p> <p>○ドッグラン・休息エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーゴルフ場跡地周辺のエリアは、CCKグループの提案を参考にドッグランの設置を計画し、ペット連れでも楽しめる環境を整備します。 ・あわせて、同エリア内にある既設トイレ及びベンチ・テーブルの改修・更新を行い、来訪者が休息できる場を整備します。

ゾーン名（仮称）	<p>ふれあいと文化のゾーン（観光ハウス跡地、売店（グリル）跡地、文学碑の広場など）</p> <p>桜やツツジなどの季節の花や、眺望、文学碑などを楽しむため来園されている現在の機能と長所を生かした活用を行うゾーン</p>
概要 (主な機能)	<p>○イベント広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ハウス跡地に、イベント利用も可能な屋根付き施設や芝生広場を整備し、アンケート調査やヒアリング調査においてニーズの高い飲食の提供が可能となるよう、キッチンカー等の移動式店舗の設置が可能な環境にします。 ・文学碑の広場は、音戸の瀬戸を眺めることができる広場とし、ベンチや屋根付き休憩施設などの休憩施設を設置します。 ・また、観光ハウス跡地と文学碑の広場を結ぶバリアフリー基準に対応したスロープを整備し、利用環境の向上を図ります。 <div data-bbox="720 720 1163 1006"> </div> <div data-bbox="1291 720 1965 1006"> </div> <p>イベント広場への屋根付き施設のイメージ （導入事例：静岡市トライアルパーク蒲原） 【出典：株式会社風景セコロ ホームページ】</p> <p>○売店施設（民間事業者の誘致を想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店（グリル）跡地は、CCKグループの要望を踏まえ、飲食品や地域の产品などが購入できる施設を、民間事業者の誘致を前提に検討します。 <p>○駐車場・小型モビリティ拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内敷地は、駐車場と次世代モビリティの乗降場所として整備します。 ・また、当エリアから「はじまりとつながりのゾーン」の間の歩行者導線を確保するため、園内の敷地を活用し園路の整備を行い、来園者の安全性の向上を図ります。

その他の整備内容	
概要 (主な機能)	<p>○園路・散策路</p> <ul style="list-style-type: none"> 三つのゾーンをつなぐ園路・散策路については、CCKグループの提案を参考に、ウッドデッキ調の園路の設置や、ウッドチップ素材を活用した舗装を行い、来訪者が気持ち良く散策できる環境とします。 国道487号警固屋音戸バイパスから公園方面につながる道路（園路）について、利用者を迎える玄関口として舗装の修景化や、主要な箇所に路面を照らす園路照明を設置し、公園内の誘導路としての機能向上を図ります。 <p>○高鳥台</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園内で最も標高が高い当エリアは、音戸の瀬戸や瀬戸内海を眺めながらゆったりと安全に滞在できる環境となるよう、老朽化しているベンチやテーブル等の休憩施設及び展望台の改修や更新を行うとともに、根の浮き上がりや石の突出等により歩きにくい状態となっている路面の改修を行います。 <p>○園内樹木</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査やヒアリング調査の意見を踏まえ、公園内からの眺望をより優れたものとするため、阻害要因となっている樹木の伐採・整理を行います。

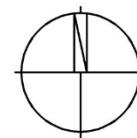
○ゾーニング・配置計画図案（全体図）



○ゾーニング・配置計画図案

はじまりとつながりのゾーン

0 5 10 20
50 m



警固屋音戸バイパス側
入口方面

凡例

整備内容

整備主体: 呉市

整備内容

整備主体: CCK グループ

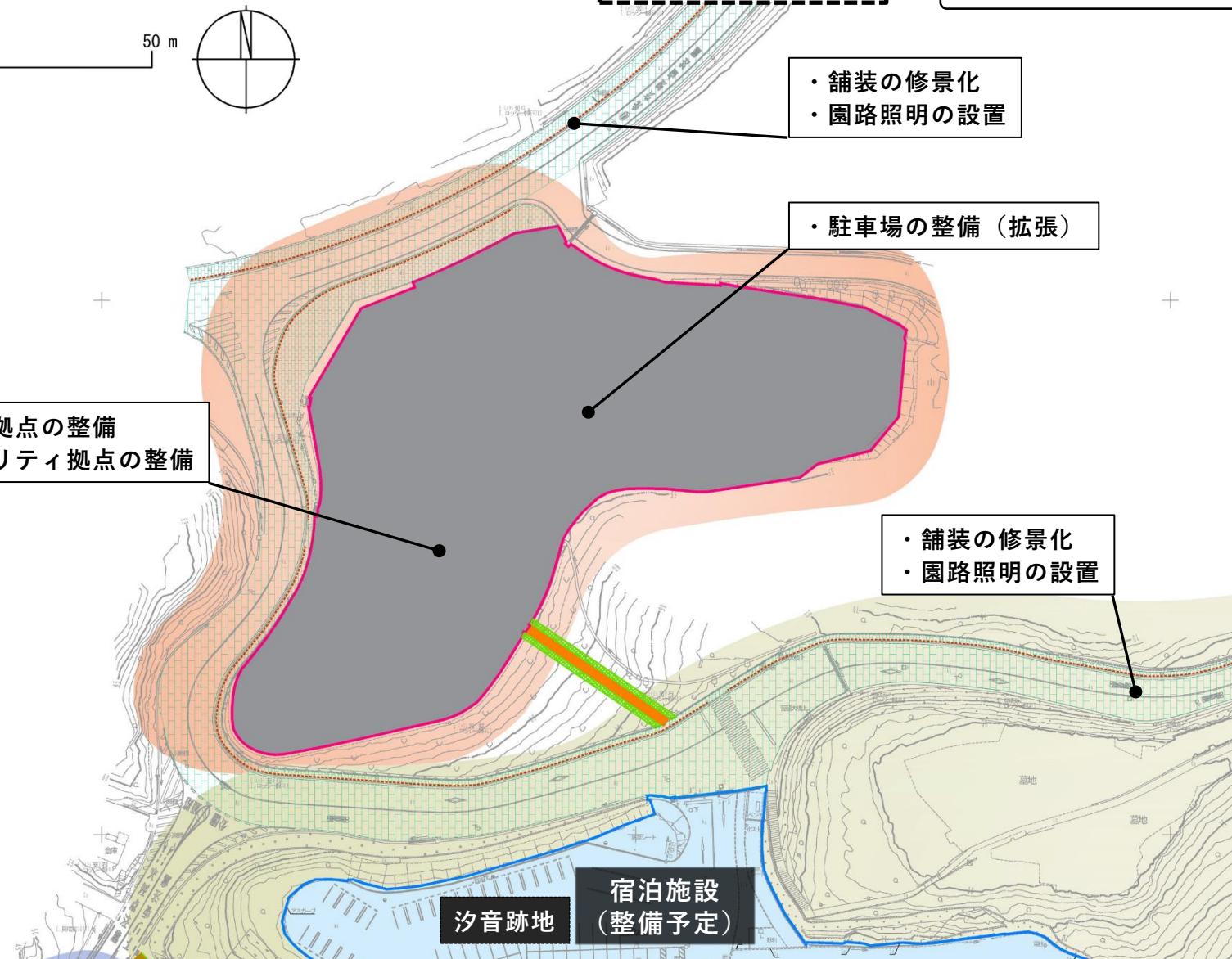
- ・交流拠点の整備
- ・モビリティ拠点の整備

- ・舗装の修景化
- ・園路照明の設置

- ・駐車場の整備（拡張）

- ・舗装の修景化
- ・園路照明の設置

宿泊施設
(整備予定)
汐音跡地



○ゾーニング・配置計画図案
やすらぎと感動体験のゾーン

凡例

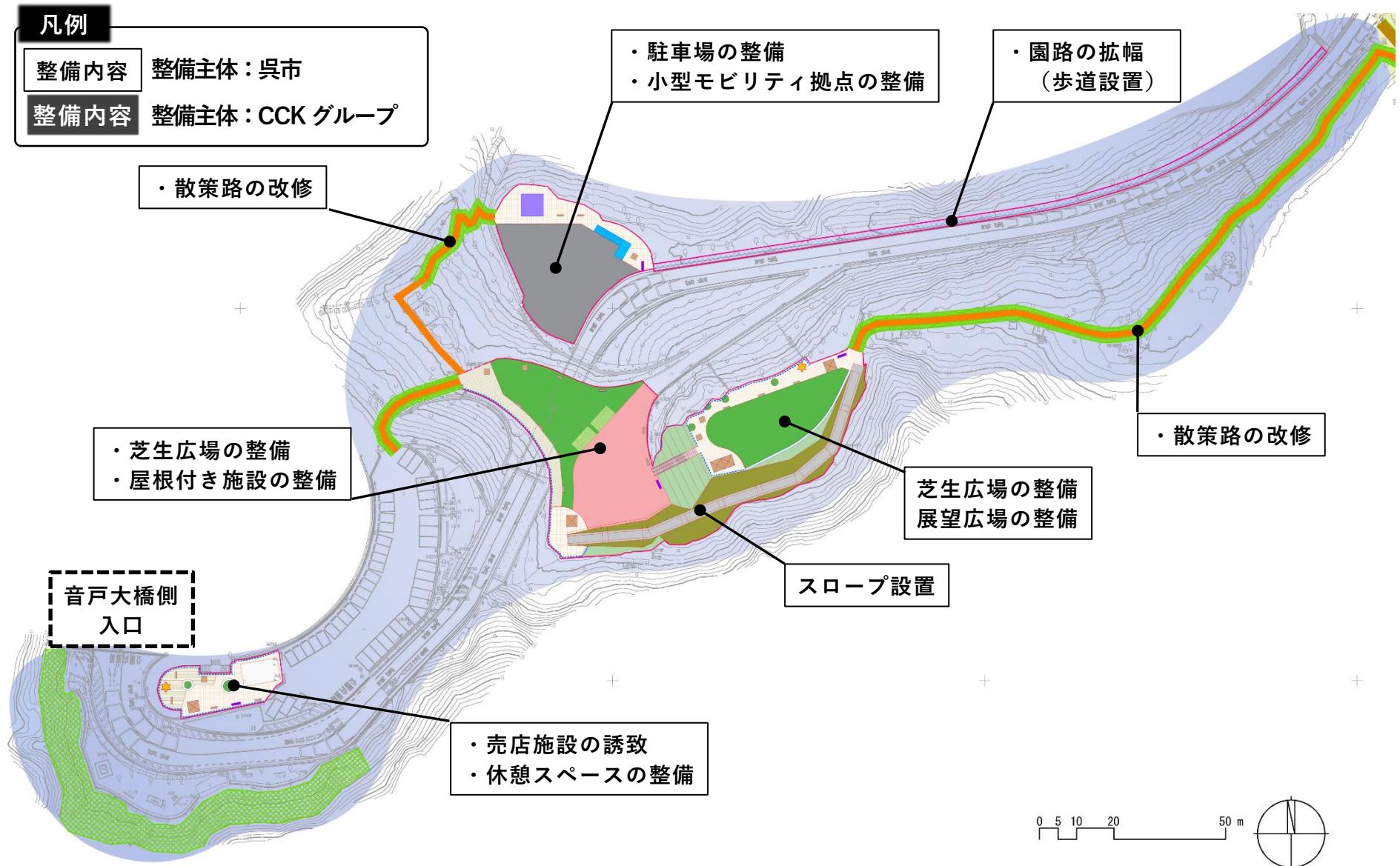
整備内容 整備主体: 呉市

整備内容 整備主体: CCK グループ



○ゾーニング・配置計画図

ふれあいと文化のゾーン



4 概算事業費（事業費の目安）

現時点でのゾーニング（配置計画）案による概算事業費は、40億円～50億円を見込んでおり、今後、精査を行います。

事業の財源については、防衛省の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金や内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）等の国庫補助制度の活用を検討しています。

今後のスケジュール（予定）

○呉市

引き続き、CCKグループと協議を行いながら、整備内容の検討や概算事業費の算出、イメージパースの作成等を進め、令和8年3月を目途に整備計画を策定する予定です。整備計画案の内容については、改めて議会に報告します。

令和8年度は、整備計画を基に実施設計に着手するとともに、公園内への次世代モビリティ導入検討のための実証実験を行う予定です。

○CCKグループ

CCKグループが主体となって行う宿泊施設及び飲食施設の整備に向けて、現在、関係法令の確認・整理、企画設計、施設のデザインを担う事業者や施設整備を担う事業者の選定等に向けた検討を行っています。今後は、令和8年度にかけて、具体的な施設の整備内容や整備スケジュールの計画、整備に必要となる許認可の手続が進められる予定です。

【想定スケジュール】

※現段階での想定であり、整備計画の策定やCCKグループとの協議を行いながら、公園の再整備を進めます。

	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
音戸の瀬戸公園 再整備	基本協定締結 ◎					
呉市		整備計画策定	整備計画を踏まえた実施設計、施設整備工事			供用開始 (予定) ➤
CCK グループ		企画設計	施設詳細設計 許認可手続	施設整備工事		施設開業 (予定) ➤

参考資料

○公園の概要

公園の名称	音戸の瀬戸公園
所在	呉市警固屋8丁目地内外
公園種別	都市公園（風致公園）
公園区域面積	18.7 ha
設置年月日	昭和37年4月1日

○基本協定締結の相手方

グループ名：CCKグループ

【構成事業者】

	法人名等	役割
代表法人	地域創生ソリューション株式会社	開発担当
構成法人①	株式会社瀬戸内ブランドコードレーション	コンサルティング（企画立案）担当
構成法人②	株式会社広島銀行	資金調達・事業計画検討支援担当
構成法人③	ひろぎんエリアデザイン株式会社	コンサルティング（地域連携支援）担当
構成法人④	ファースト信託株式会社	信託受託担当
構成法人⑤	Banyan Tree Japan (バンヤン ツリー ジャパン)	宿泊施設・飲食施設運営担当

○ C C K グループの提案内容 (令和 7 年 3 月の産業建設委員会での報告内容を基に作成したものです。)

(1) 宿泊施設・飲食施設の開発・運営【 C C K グループ実施】 ※令和 11 年度の開業に向けて整備

- ▶ 「外資系ラグジュアリーホテル」を、民間資金により「汐音跡地（エリア⑥）」及び「みはらし荘敷地（エリア⑪※公園区域外）」に整備・運営

【宿泊施設の計画概要】※提案段階での計画であり、今後変更となる可能性があります。

整備エリア	延べ面積	客室数	備考
汐音跡地	約 9,000 m ²	約 100 室	
みはらし荘敷地	約 5,500 m ²	約 60 室	公園区域外

※宿泊施設の運営に当たっては、呉市が所有する温泉施設の活用も検討したい旨の申出あり。

- ▶ 飲食施設を、民間資金により「さくらの里敷地（エリア⑧）」に整備・運営

【飲食施設の計画概要】※提案段階での計画であり、今後変更となる可能性があります。

整備エリア	延べ面積	客席数	備考
さくらの里敷地	約 220 m ²	約 400 席	客席数は、飲食施設の屋外の席数を含む。

(2) 公園全体のリニューアル整備【呉市実施】

- ▶ にぎわい空間の創出に向けた整備計画案を呉市と連携して策定し、呉市が整備主体となって実施

(3) 公園全体の一体的な運営

- ▶ 公園全体を指定管理者として管理・運営

〈提案内容及び整備主体〉 ※活用エリアの位置図は、23ページ【提案エリア位置図】を参照

番号	エリア	提案内容（整備する公園施設等）	整備主体
①～⑤	売店（グリル）跡地、観光ハウス跡地、文学碑の広場、北側広場駐車場、北側広場	コミュニティ広場の整備	呉市
⑥	汐音跡地	宿泊施設の整備	C C K グループ
⑦	ファミリーゴルフ場跡地	こども向けの遊び場の整備	呉市
⑧	さくらの里敷地	飲食施設の整備	C C K グループ
		展望デッキの整備	呉市
⑨	園内一円	散策路の整備や園路への照明設置	
⑩	園内敷地	ドッグランの整備	
⑪	みはらし荘敷地 ※公園区域外	宿泊施設の整備	C C K グループ

○提案エリア位置図

※公園区域及びエリア区域は、およその範囲を図上に表示したものです。

